

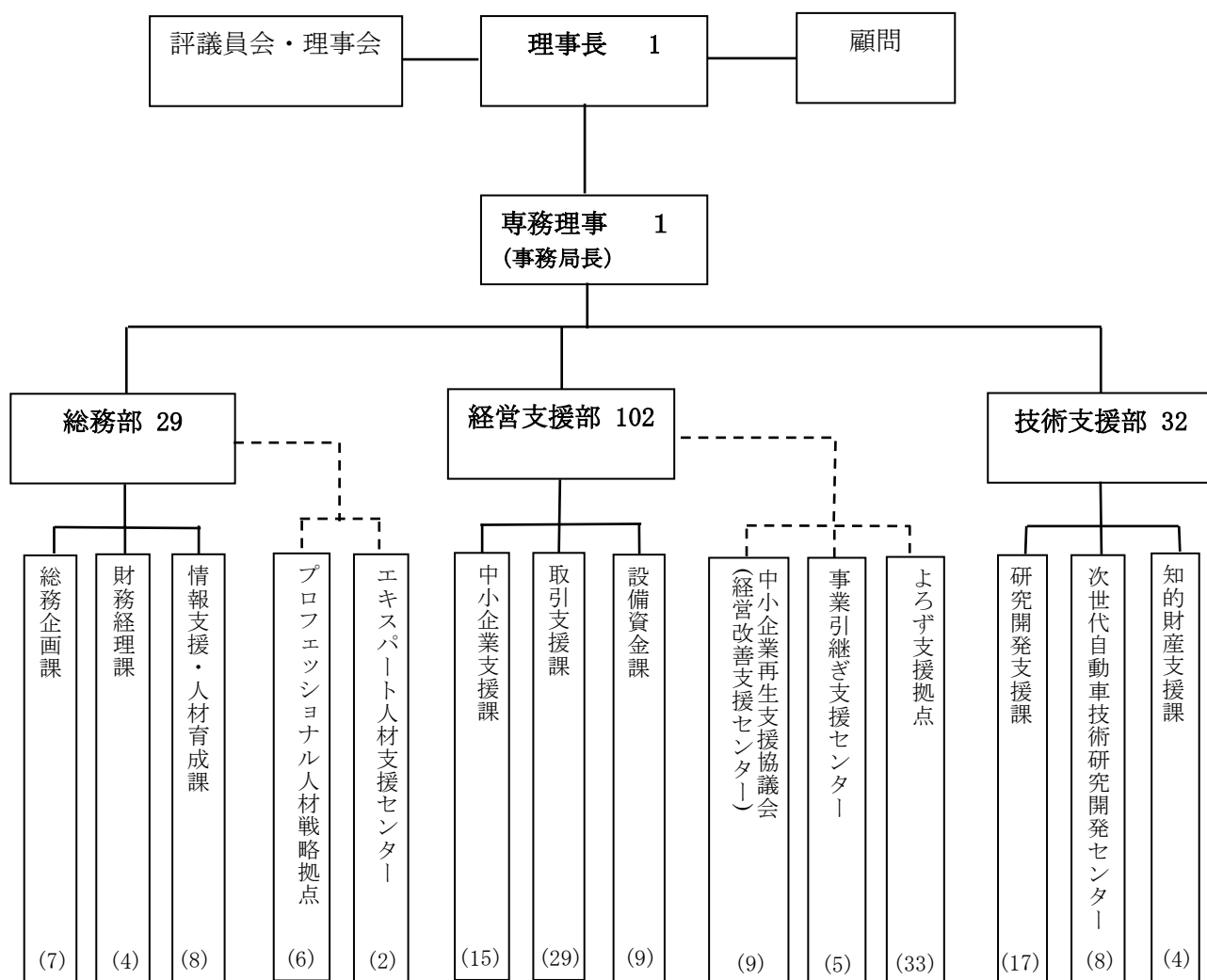
平成 28 年度

事業報告書

公益財団法人岡山県産業振興財団

I 組織図

(平成 29 年 3 月 31 日現在)



○役職員数

役員(常勤)	2
プロパー	34
市・企業出向	11
期間雇用	31
嘱託	24
非常勤	19
派遣	14
業務委託	30
計	165 人

Ⅱ 理事会等の開催状況

1 理事会

開催日	審 議 事 項 ・ 報 告 事 項
第 1 回 (平成 28 年 6 月 8 日)	(審議事項) 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告について 第 2 号議案 平成 27 年度決算報告について 第 3 号議案 評議員選定委員会の委員選出について 第 4 号議案 平成 28 年度第 1 回評議員会の招集について (報告事項) 報告事項① 理事、監事の辞任及び選任について
第 2 回 (平成 28 年 6 月 23 日) ※書面決議	(提案事項) 第 1 号議案 専務理事の選定について 第 2 号議案 常勤理事の報酬について
第 3 回 (平成 29 年 3 月 17 日)	(報告事項) 報告事項① 理事長並びに専務理事の職務の執行状況について 報告事項② 平成 28 年度第 1 回評議員選定委員会の結果について (審議事項) 第 1 号議案 平成 28 年度事業計画の変更について 第 2 号議案 平成 28 年度補正予算について 第 3 号議案 平成 29 年度事業計画について 第 4 号議案 平成 29 年度当初予算について 第 5 号議案 平成 29 年度借入最高限度額について 第 6 号議案 知的総合支援窓口運營業務の実施体制及び財団職員の役務の提供について 第 7 号議案 平成 28 年度第 2 回評議員会の招集について (その他) 平成 29 年度執行体制について 理事の辞任及び選任について

2 評議員会

開催日	審 議 事 項 ・ 報 告 事 項
第 1 回 (平成 28 年 6 月 23 日)	(審議事項) 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告について 第 2 号議案 平成 27 年度決算報告について 第 3 号議案 役員の辞任及び選任について (報告事項) 報告事項① 評議員選定委員会の委員選出について
第 2 回 (平成 29 年 3 月 27 日)	(審議事項) 第 1 号議案 平成 28 年度事業計画の変更について 第 2 号議案 平成 28 年度補正予算について 第 3 号議案 平成 29 年度事業計画について 第 4 号議案 平成 29 年度当初予算について 第 5 号議案 平成 29 年度借入最高限度額について 第 6 号議案 知的総合支援窓口運營業務の実施体制及び財団職員の役務の提供について 第 7 号議案 理事の辞任及び選任について (その他) 平成 29 年度執行体制について

3 監事監査

開催日	監 査 事 項
平成 28 年 6 月 7 日	第 1 号議案 平成 27 年度事業報告について 第 2 号議案 平成 27 年度決算報告について

4 評議員選定委員会

開催日	審 議 事 項
平成 28 年 8 月 1 日	(報告事項) 報告事項① 評議員の辞任について (審議事項) 第 1 号議案 評議員の選任について

Ⅲ 総括

平成 28 年度の我が国経済は、前半新興国の景気減速や円高進行などの影響から輸出、設備投資等が低迷し全体として景気の悪化局面から脱し切れない状況が続きました。その反面、雇用状況は、人手不足感が否めず労働需給のバランスが崩れ、売り手市場が続いています。

ただ、米大統領選後は、政策運営の動向等、不透明な部分も拭いきれず、米国の金利上昇に伴い、円安、株高に転じていることもあり、国際収支は、9 年振りに年度累計の経常収支が 20 兆円台の黒字となりました。

岡山県においては、三菱自動車工業(株)の燃費データ不正操作による対象車種の生産、販売の停止の影響から、支援機関、経済団体、金融機関等による支援体制を整備し、裾野が広い自動車産業のみならず、広く影響を受ける自動車産業以外の企業への支援を実施しました。

経営支援部門では、岡山県中小企業支援センター（「総合相談窓口」、「三菱自動車工業(株)関連企業 経営・取引相談センター」）及び岡山県よろず支援拠点として、専門家の活用や他の支援機関との連携も図りつつ、県内中小企業や創業予定者等が抱える経営・生産管理等の様々な経営課題の解決を支援しました。特に、岡山県よろず支援拠点では、利用者の利便性確保のため、本部と岡山サテライトオフィスに加えて、津山サテライトオフィスを開設するとともに、出前よろず支援拠点の充実も図りました。

経営革新等にチャレンジする中小企業には、計画の策定支援や計画の策定に必要な人材の確保及び支援機関向け実務者研修を実施するとともに県の承認支援などの総合的支援を実施しました。

ベンチャー・創業への取り組みについては、相談会やセミナー、事業計画の策定研修、金融機関や投資家とのマッチング、創業費用の一部補助及び創業者のネットワーク形成など総合的に支援しました。

製造業の下請取引支援については、「ものづくり県岡山」を県内外へアピールするとともに県外の大手メーカーとのマッチング機会を創出し、県内ものづくり企業の販路拡大を図るために「おかやまテクノロジー展（O T E X）2017」をコンベックス岡山で 2 日間開催しまし

た。

また、個別企業ごとに取引先・設備・景況状況等を調査し、企業ニーズにマッチする取引先を紹介、成約に向けた支援を行いました。さらに、発注企業のニーズに応えるため、大都市圏や個別での商談会、大手企業を対象とした展示商談会等の開催、国内外の展示会への出展支援を行い、効率的なマッチングの場を設けることにより、多くの成約につなげることができました。

さらに、三菱自動車工業(株)の燃費不正問題により多大な影響を受けた県内協力企業の支援にあたり、自動車関連企業を招聘した商談会の開催や自動車関連展示会への出展、大都市圏の発注案件を発掘するための広域専門調査員の設置を行い、受注機会の拡大に努めました。

県内製品の販路開拓については、首都圏でのテストマーケティング、バイヤーとの出前商談会、大規模展示会への出展及び「岡山ビジネスサポーターズ」（首都圏在住の岡山にゆかりのある経営者等）による支援等を活用して、開発商品のブラッシュアップやブランド力強化、販路開拓に努めました。また、安全で高品質な県内農林水産物や加工食品の輸出促進に向けた支援も実施しました。

また、設備貸与事業は、引き続き創業者、小規模企業者等及び中小企業者に対して円滑な設備導入の支援を行いました。

一方、事業再生や経営改善に取り組む中小企業に対し、再生支援協議会事務局として関係機関と協議・連携を進めながら企業再生に努め、抜本的な再生事業を数多く生み出したほか、専門家派遣による支援等を通じ、経営改善計画の策定支援やそのフォローアップにも努めました。

さらに、事業引継ぎに関しても、事業引継ぎ支援センターにおいて、事業譲渡や承継等に関する助言、情報提供及びマッチング支援に努めました。

技術支援部門では、企業や大学等有する研究開発ニーズや技術シーズを把握し、新技術や新製品の創出に向けた研究開発を促進するため、専任コーディネータの体制を充実させ、課題解決に向けた産学、産産の連携を支援するとともに、「きらめき岡山創成ファンド」によ

る助成を通じ、地域産業資源等を活用した研究開発等を支援していくことで、新産業・新事業の創出に繋げてまいりました。

また、国の緊急経済対策として事業化された、ものづくり中小企業等が行う試作開発や設備投資などを支援するための大型補助金については、その申請に必要な開発計画や資金計画の立案を積極的に支援することで1件でも多くの事業が採択されるよう、当財団の持つ認定支援機関としての機能をさらに充実させ、しっかりと対応してまいりました。

県内の自動車関連産業が、引き続き本県の主要産業として発展するよう、「おかやま次世代自動車技術研究開発センター」において開発した、インホイールモータを含めたEV駆動システムについて、さらなる信頼性評価、小型化、低コスト化などに取り組むと同時に、大手自動車メーカーとの共同研究によって、引き続き実用化に向けた研究開発を推進し、今後は参加した個別企業や企業連合にて事業展開を図ってまいります。

情報支援・人材育成部門では、ITによる経営合理化、経営基盤強化を図るために、最新動向などを取り入れたセミナーや業務に役立てることができる研修会を開催しました。

企業からの人材育成のニーズに応えるため、経営者・新入社員など階層別に、経営管理・労務・生産・技術など分野別に体系的カリキュラムを整備し、専門人材やビジネスリーダー、後継者の育成などの研修を実施しました。

グローバル支援として、日本人学生の国内外での実践活動を通じ、地域を活性化するリーダー候補を育成、また、留学生をビジネス人材として育成し、就職マッチング等を通じ県内中小企業の海外における事業展開を支援しました。

また、県内支援機関と緊密な連携を図り、情報を共有しながら、有益な政策情報、セミナー情報、イベント情報等のタイムリーな発信に努めました。

人材確保に悩む県内中堅・中小企業に対しては、都市部の大手企業等で豊富な経験を有するプロフェッショナル人材や、高度な専門技術・技能を保有するエキスパート人材とのマッチングを支援しました。

当財団は、県内企業の皆様に幅広くご利用いただけるように、国・県が打ち出す中小企業支援策を積極的に活用しながら、ニーズに即した各種支援事業に取り組むとともに、他の支援機関・研究機関等とも連携を強化し、「頑張る中小企業の応援団」として県内中小企業の支援に総力を挙げて取り組んだところであります。

Ⅳ 活力と創造性のある中小企業の育成（経営支援部事業）

岡山県中小企業支援センター及び中小企業経営力強化支援法に基づく認定支援機関として、県内中小企業の経営基盤の強化に向け、他の支援機関と連携しながら窓口相談、創業支援、販路拡大支援、経営革新支援、設備導入支援に努めたほか、経営改善、事業引継ぎ、更には中小企業の再生へ向けた取り組みを支援した。

1 岡山県中小企業支援センターの運営

（１）総合相談窓口の運営（県委託事業）

- ① 中小企業が抱える経営・生産管理等に関する幅広い課題について、窓口、電話、訪問及び「しんきん合同ビジネス交流会」等の各種相談会において相談に対応した。

・相談件数 1,357 件（679 社）

内、三菱自動車工業(株)関連相談件数 70 件（37 社）

- ② 事業説明会の開催を通じて財団が行う事業の周知徹底を行った。さらに個別相談会を開催し、中小企業の各種経営課題について相談対応を行った。

・事業説明会・個別相談会の開催 1 回（事業説明会：141 人、個別相談会：18 件）

- ③ 中小企業支援センター事業などの県制度だけでなく、国が行う「ミラサポ」専門家派遣制度も活用しつつ、中小企業診断士等の専門家と連携して中小企業が抱える経営課題の解決を支援した。

・専門家の派遣 155 社（484 回）

内、岡山県中小企業支援センター専門家派遣制度「成長企業等支援事業」活用

15 社（70 回）

内、岡山県中小企業支援センター「BCP 策定支援」活用

6 社（18 回）

内、県委託「事業承継促進事業」活用

8 社（21 回）

内、県委託「経営革新推進事業」活用

18 社（104 回）

内、県委託「起業家人材育成支援事業」活用

27 社（78 回）

内、「ミラサポ」専門家派遣制度活用 56 社（107 回）

内、備中県民局委託「全国に飛び出せ！備中地域ブランド育成事業」活用
10 社（30 回）

内、岡山市委託「岡山市戦略的販路開拓・ハンズオン支援事業
見本市出展支援事業」活用 3 社（14 回）

内、岡山市委託「岡山市戦略的販路開拓・ハンズオン支援事業
ブランド力向上支援事業活用 4 社（16 回）

内、自主事業「設備貸与推進事業」活用 10 社（28 回）

- ④ 中小企業に対し BCP（事業継続計画）の策定済企業や専門家を講師とするセミナーを開催し、普及啓発に取り組むとともに BCP 策定意欲を有する中小企業を対象に専門家派遣を行い、県内中小企業の BCP 策定を支援した。

- ・ BCP 普及啓発セミナー 1 回（80 人）
- ・ 専門家による BCP 策定支援 6 社（18 回）※再掲

（2）事業承継の支援（県委託事業）

事業引継ぎ支援センターや金融機関と連携し、事業承継に関する普及啓発と課題解決を支援する専門家によるセミナー、個別相談会及び研修会を開催した。

また、中小企業診断士等の専門家を派遣し、事業承継計画策定支援のほか事業承継に向けた課題解決を支援した。

- ・ 事業承継シンポジウム&個別相談会の開催 3 回（県内 3 ヶ所で実施）
（岡山会場：53 人、倉敷会場：41 人、津山会場：32 人）
- ・ 事業承継計画策定研修会の開催 1 コース（4 回）
（第 1 回 22 人、第 2 回 24 人、第 3 回 29 人、第 4 回 18 人）
- ・ 専門家派遣 8 社（21 回）※再掲

2 岡山県よろず支援拠点の運営（国委託事業）

売上拡大や生産性向上等の経営相談に応じ、中小企業・小規模事業者の課題を分析し、一定の解決策を提示するとともに、フォローアップを実施した。

相談者の利便性向上のために、「岡山サテライトオフィス」に加えて「津山サテライトオフィス」を開所するとともに、「出前よろず支援拠点」として、商工会議所や市町村及び金融機関と連携して定期的な出張相談を実施した。

また、「売上アップ」や「販売促進」、「IT 活用」等のテーマ別に 2 名～3 名の少人数制の勉強会や経営の革新を行うために継続的に支援して、経営を具現化する「よろず塾」を開催した。

・ 来訪相談者数	5,682 人
・ 相談対応件数	5,838 件
・ 課題解決件数	628 件
・ 出前よろず支援拠点開催数	334 件
・ よろず勉強会開催数	492 回

3 経営革新の支援

（1）経営革新計画の承認支援（県委託事業）

中小企業等の策定した経営革新計画の県による承認をサポートするため、審査及び指導助言を行うとともに経営革新に関心のある中小企業等を対象とした経営革新セミナーのほか、経営革新計画終了企業のうち成果が顕著であり他の模範となる企業を表彰し、その取り組み内容を広く県内に PR するなど制度の周知及び活用の促進を図った。また、計画策定を支援する経営指導員を対象とする研修を開催し資質の向上を図った。

さらに、経営革新計画の策定に取り組む中小企業等に対して、計画の策定や実施に伴い不足する人材について、人材派遣を活用した支援を行うとともに計画の策定に必要な指導助言を行う専門家を派遣することで、総合的な支援を行った。

・審査及び指導助言	109 件
・経営革新セミナー・交流会の開催	1 回（165 人）
・経営革新企業表彰の実施	1 回（グランプリ 1 社、優秀賞 2 社）
・経営指導員向け実務研修の開催	1 コース（2 回）
（第 1 回 26 人、第 2 回 24 人）	

（2）経営革新計画の推進（県委託事業）

経営革新計画の策定や新事業展開に必要な人材を派遣期間終了後も継続して雇用することを前提に派遣会社を通じて派遣し、経営革新計画の推進を支援する。

・人材の派遣（3 ケ月）	4 社（延べ 5 人）
・専門家派遣	18 社（104 回）※再掲

4 創業の支援

（1）創業事業費の補助による起業・創業支援（県委託事業）

新たに需要や雇用の創出を図り、県内経済の活性化を図るため、地域のニーズを的確に把握し独創的なサービスや新たな商品を提供しようとする若者や女性等、または今後の発展が見込める新たな分野や事業へのビジネス展開を図ろうとする中小企業等に対して、創業や第二創業、新商品・新サービスの開発等に要する経費の一部を県が補助する事業に関し、審査等の事務局業務を担った。

・新規創業に対する補助	19 件（応募数 58 件）
・第二創業に対する補助	1 件（応募数 2 件）

（2）創業後のフォローアップ支援（民間委託・自主事業）

国の創業補助金を活用し新たな起業・創業や第二創業を行った者に対し、事業化及び収益状況等を調査し必要なフォローアップを行った。

- ・ 事業化等状況報告書及び決算書の徴求、報告内容確認及び補助金支給後報告書による（独）中小企業基盤整備機構への報告
- ・ 創業者等において納付すべき収益が発生した際の補助金返納手続
- ・ 事業廃止承認申請書、登録変更届の受理、記録

（３）女性創業者の育成支援（県委託事業）

男女共同参画推進センター（ウィズセンター）内に設置されている女性創業サポートセンターにおいて創業を目指す女性を対象に、創業を成功させるために必要な知識や技術を習得する研修を開催するとともに県内の女性起業家との情報・意見交換の場の提供及び各種相談への対応等を行い女性の創業を総合的に支援した。

- ・ 相談件数 239 件
- ・ 女性創業塾の開催（５日間） 2 回（初級コース 20 人・中、上級コース 23 人）
- ・ 女性創業セミナー・交流会の開催 2 回（45 人、46 人）

（４）起業家人材の育成支援（県委託事業）

起業予定者を対象に研修を企画・実施し、ビジネスに関するノウハウや基礎知識、各種専門知識の習得を図るほか、フォローアップのための創業セミナー及び個別相談会を開催した。

また、創業後の不安定な時期の創業者にそれぞれの課題に応じた専門家を派遣し、フォローアップを行った。

- ・ 起業家育成研修（10 日間） 1 回（15 人）
- ・ 創業&フォローアップセミナー 1 回（参加者 91 人、個別相談 51 件）
- ・ 専門家の派遣 27 人（78 回）※再掲

(5) ベンチャー企業の育成支援（県委託事業）

成長が期待されるベンチャー企業を対象に、ハンズオン支援を行うとともにベンチャーキャピタルや金融機関とのマッチング会等を通じてビジネスパートナー等との出会いの場を提供し、事業発展を支援した。

・ベンチャーキャピタル、金融機関とのマッチング会 2回

（参加企業 第1回5社、第2回5社）

(6) ベンチャービジネスの推進（県委託事業）

創業者のネットワークを促す「創業者サロン」を開設・運営し、互いの知識・技能を学び、異業種交流を通じた経営者としての資質向上、企業の成長・安定を支援した。

また、創業支援機関、金融機関と連携し県内で起業意欲を有する個人や団体から新規性・独創性のあるビジネスプランを全国募集し、優秀なプランについて先進的なメンター制度を活用し、短期間での起業・成長を実現に取り組んだ。

併せ、起業支援体制の充実を図るため、インキュベーションマネージャー養成研修に職員を派遣した。

・創業者サロン 会員数 82 人（平成 28 年度末時点）

（設立プレイベント 1 回、定例会 7 回）

・IM 養成研修への職員派遣 1 人

・メンターによるセミナーの開催 1 コース（4 回）

（第 1 回 30 人、第 2 回 24 人、第 3 回 24 人、第 4 回 24 人）

・メンター等による支援・助言 7 社

・ビジネスプランコンテストの開催 1 回（応募件数：58 件）

（最優秀賞、優秀賞、中国銀行賞、トマト銀行賞、ORIC 賞 各 1 件、奨励賞 2 件）

(7) 創業サポートプロジェクト事業（県委託事業）

美作県民局が実施する、美作地域コミュニティビジネスプラン・コンテストへの応募希望者への支援及びコンテストの受賞者が抱える創業及び創業後の課題解決を支援した。

- ・創業&フォローアップセミナーの開催 1回（71人）
- ・専門家による個別相談会 1回（7件）
- ・コンテスト受賞者に対する相談支援 15件

5 下請企業の取引あっせん

(1) 取引情報の収集提供（県補助事業）

県内中小企業等の優れた加工技術を県内外発注企業に広く PR し、新規取引先の開拓支援を行うことで、下請企業の取引あっせんに努めた。

また、アジア地域に進出している県内中小企業等のガイドブックを作成し、県内外の発注企業への提供等により、県内下請企業の新規取引先の開拓、広域的な受注機会の拡大を図った。

(2) 国内商談会等の開催

県外発注企業を岡山県に招聘し県内中小企業等との面談を行う広域商談会の開催や、全国規模の見本市への出展、本社・工場が集約している大都市圏へ発注案件に適合する県内中小企業と出向き商談を行う現地商談会等の開催により、新規取引先の開拓支援を図った。

また、日本を代表する工作機械、ロボットメーカーである㈱不二越等に対して、県内中小企業の優秀な技術や製品を PR する展示商談会を開催した。

- ① 広域商談会の開催 2回（県補助事業）
- ② 中国ブロック合同商談会の開催(鳥取) 1回（県補助事業）
- ③ 関東圏域広域商談会の開催（東京） 1回（県補助事業）
- ④ 大都市圏企業との現地商談会の開催 6回（県補助事業）

⑤ 機械要素技術展への出展（東京）	1 回（県補助事業）
⑥ 関西機械要素技術展への出展	1 回（県補助事業）
⑦ オートモーティブワールドへの出展	1 回（県補助事業）
⑧ 大企業を対象とした展示商談会の開催	1 回（県補助事業）
⑨ 個別商談会の開催	5 回（県補助事業）
⑩ 関西機械要素技術展への出展	1 回（岡山市委託事業）
⑪ 現地商談会の開催（大阪・愛知）	2 回（岡山市委託事業）
⑫ 美作地域での商談会開催（津山市）	1 回（美作県民局委託事業）

（３）海外における市場開拓の支援（県補助事業）

県内ものづくり企業の海外での販路開拓を支援した。特に多くの企業が生産拠点として進出しているアジア地域を中心に、商談会の開催、展示会出展支援、個別企業紹介を行った。

① 中国進出日系大手企業との商談会の開催	1 回
② 海外展示会への出展	1 回
③ 東南アジアものづくり情報収集提供事業	1 回

（４）広域専門調査員の設置（県補助事業）

県外企業を訪問し、自動車関連産業等に係る県内の受注ニーズに見合った発注案件を発掘するとともに、現地商談会等の調整などを行うため、関東、東海、関西の各地区に１名の調査員を設置した。

- ・ 関東地区担当 1 名
- ・ 東海地区担当 1 名
- ・ 関西地区担当 1 名

(5) 新分野開拓への支援（県補助事業）

既存事業の自動車以外の分野での活用、展開についてのセミナーの開催及び個別指導を行った。

- | | |
|------------------|--------------|
| ① 新分野開拓支援セミナーの開催 | 1 回 |
| ② 個別指導の実施 | 6 回（2 社×3 回） |

(6) 岡山県自立化推進研究会等の活動支援（自主事業）

県内の中堅下請企業で構成する「自立化推進研究会」（4 グループ 78 社）及び異業種交流・共同受注グループ（3 グループ 58 社）の活動を支援した。

- | | |
|------------------|--------|
| ① 90 岡山県自立化推進研究会 | 例会 6 回 |
| ② 92 岡山県自立化推進研究会 | 例会 6 回 |
| ③ 94 岡山県自立化推進研究会 | 例会 6 回 |
| ④ ウイング岡山 21 | 例会 6 回 |
| ⑤ トラストネット未来 | 例会 3 回 |
| ⑥ ウイングウィン岡山 | 例会 6 回 |
| ⑦ メディカルネット岡山 | 例会 4 回 |

6 ミクロものづくり岡山ブランドの形成促進（県委託事業）

「ミクロものづくり岡山」のブランド形成を加速させるとともに企業の競争力強化を図るため、展示会出展や「ミクロものづくり岡山作品コンテスト」で優秀賞を受賞した企業の PR 冊子（フリーペーパー）を作成し、先端技術を有する県内企業を国内外に発信した。

- ・機械要素技術展への出展（東京）
- ・ミクロものづくり岡山作品コンテスト受賞企業の PR 冊子（フリーペーパー）の作成
- ・アンケート調査事業

7 精密ものづくり加工技術展示商談会事業（県委託事業）

県内ものづくり企業が一層の販路拡大に取り組むため、「マイクロものづくり岡山」ブランドの形成の加速が必須であり、県下全域の優れた精密加工技術力及び技術開発力を一堂に集め、県内外のメーカー等に向けてPRを行った。

- ・おかやまテクノロジー展(OTEX)2017 の開催 152 社・機関出展

8 岡山県内中小企業の景況調査（県委託事業）

県内中小企業の景況状況を定期的に把握するため、年間 4 回（5 月・8 月・11 月・2 月）、対象企業 750 社に対しアンケート調査を実施し、調査報告書を作成した。

9 航空機産業クラスターの形成推進（県委託事業）

一貫生産の進む航空機業界において体制構築の可能性を探りながら、本県のポテンシャルの高さをアピールすることにより、西日本における航空機産業拠点の構築を目指すことを目的とし、展示会への出展支援を行った。

- ・2016 年国際航空宇宙展への出展（東京）

10 三菱自動車工業(株)に係るアンケート調査（県委託事業）

三菱自動車工業(株)の軽自動車生産・販売停止に係るアンケート調査及び電話ヒアリング調査を実施。

- ・アンケート調査 2 回
- ・電話ヒアリング調査 3 回

※平成 28 年度下請企業の取引あっせん実績

展示会・商談会（内、海外）	26 回（2 回）
あっせん件数	3,141 件

成約件数	280 件
成約金額	1,543,669 千円

1 1 販路開拓・拡大支援

(1) 新商品の販路開拓支援（県委託事業）

優れた新商品・サービス等を有するにもかかわらず、メーカーや小売店等との接点がなく販路開拓ができていない中小企業等を支援するため、全国規模での県産品の販路開拓支援を行った。

また、県内企業と岡山県にゆかりのある首都圏在住の企業経営者（岡山ビジネスサポーターズ）、ディーラー、バイヤー等とのネットワークを構築し、販路開拓に関する助言により販路支援を行った。

・ブラッシュアップ研修 1 回

（参加者 セミナー47 名、座談会 16 名、個別指導 5 社）

・ストーリーガイド作成 2 種

「商品ストーリーガイド」 36,000 部（20 商品、20 社）

「岡山ストーリーガイド」 1,000 部（岡山を代表する食材を紹介）

・岡山ビジネスサポーターズ・ミーティングの開催 2 回（延べ 134 人）

・グルメ&ダイニングスタイルショーへの出展支援 1 回 20 社※3 県民局合同

（商談件数 4,613 件、商談成立 20 件）

・FOODEX JAPAN（国内ブースへの出展支援） 1 回（11 社）

（商談件数 2,550 件、商談成立 33 件）

・アンテナショップでの試飲・飲食&交流会 1 回（6 社）

（商談件数 39 件、商談成立 3 件）

(2) 新商品の県内展示商談会支援（県委託事業）

新商品を有しながら販路開拓に課題を抱える県内中小食品製造業者等を対象に、県内外のバイヤーとの個別商談の場を提供する展示商談会を開催し、新たな販路開拓を支援した。

- ・「おかやま新商品フェスタ」の開催 1 回

（参加セラー69 社・団体、参加バイヤー44 社、個別商談件数 360 件、商談成立 31 件）

(3) 「食」と「アグリ」に関する商品の販路開拓支援（民間委託事業）

「食」と「アグリ」をテーマに、県内中小企業等の持つ優れた新商品・オリジナル商品を展示するとともにバイヤーとの個別商談を行う展示商談会を開催し、新たな販路開拓を支援した。

- ・集合プレゼンテーション研修 1 回（60 名）

- ・「トマトアグリフードフェア」の開催 1 回

展示商談会 出展 61 団体（来場者 1,351 人） 商談成立 42 件

個別商談会 バイヤー51 社、セラー93 社（商談件数 426 件、商談成立 78 件）

(4) 東京サポートデスクの設置（自主事業）

岡山県東京事務所内に県内中小企業等のためのサポートデスクを設置し、プロモーターが首都圏での販路開拓、ビジネスマッチングを支援した。

- ・県内中小企業の首都圏での販路開拓支援
- ・首都圏バイヤー訪問等情報収集

(5) 台湾・香港での「農林水産物・食品」輸出促進事業（県委託事業）

台湾、香港などアジアの「日本食先進地域」において安全で高品質県産果物が持つブランド力を活用して、県内農林水産物や加工食品等売り込むために販売フェア、商談会等

を実施し、輸出促進を支援した。

- ・台湾「岡山フェア」開催（台湾シティスーパー6店舗） 1回

（フェア出品 14 社、80 商品）

- ・香港「FoodExpo 2016」出展 1回

（出展 8 社、商談件数 106 件、商談成立 7 件）

（6）海外への「農林水産物・加工品等」販路開拓支援（県委託事業）

県産農林水産物及びその加工品を有し、海外での販路開拓を目指す企業等にセミナー及び国際見本市の出展のためのブラッシュアップ研修を実施し、その商品を国際見本市に出展し海外への販路開拓を支援した。

- ・ブラッシュアップ研修 2日（8社）

- ・「FOODEX JAPAN2017」海外ブース出展支援 1回

（出展 9 社、商談件数 550 件、商談成立 4 件）

（7）備前おかやま販路開拓支援事業（備前県民局委託事業）

備前地域のものづくり企業を対象に講習会及び首都圏での出前展示商談会を開催し、首都圏での販路開拓を図るとともに、個別アドバイスを実施することにより、商品改良等を支援した。

- ・セミナーの開催 1回（39人）

- ・首都圏出前商談会の開催 1回

（参加セラー19社、参加バイヤー14社、商談件数 84 件、商談成立 6 件）

- ・フィードバック講習会の開催 4日間（19社）

（8）首都圏での見本市出展事業（備前県民局委託事業）

備前地域の企業を対象に首都圏での見本市への出展支援を行った。

・グルメ&ダイニングスタイルショー出展支援 1回(8社)

(商談件数 1,786 件、商談成立 4 件) ※再掲 (内数)

・フィードバック講習会の開催 2日(7社)

(9) 全国に飛び出せ！備中地域ブランド育成事業（備中県民局委託事業）

備中地域の企業を対象に専門家によるブラッシュアップやスキルアップのための研修会を開催するとともに、首都圏での見本市の出展支援により、特産品等の売れ筋商品化を図った。

・専門家の派遣 10社(38回)

・スキルアップ研修 2回(6社)

・ブラッシュアップセミナー 1回(40人)

・グルメ&ダイニングスタイルショーへの出展 8社

(商談件数 1,754 件、商談成立 9 件) ※再掲 (内数)

(10) 美作地域マーケットインプロモーション事業（美作県民局委託事業）

美作地域の企業を対象に、専門家によるブラッシュアップや首都圏でのテストマーケティング、首都圏での見本市の出展支援により、総合的な販路支援を行った。

・ミラサポを活用した専門家の派遣 4社(4回) ※再掲

・商品ブラッシュアップ研修及びテストマーケティング 7社

(研修 3 回、テストマーケティング 2 回)

・人材スキルアップセミナーの開催 4回

(第1回 29 人、第2回・第4回展示会参加企業 4 社、第3回 24 人)

・グルメ&ダイニングスタイルショーへの出展 4社 ※再掲

(商談件数 1,073 件、商談成立 7 件) ※再掲 (内数)

(11) 岡山市戦略的販路開拓・ハンズオン支援事業 見本市出展支援事業(岡山市委託事業)

岡山市内の企業を対象に、専門家が県外見本市出展前の準備段階から出展後のフォローまで一貫した支援を行った。

・専門家の派遣 3社(14回) ※再掲

(12) 岡山市戦略的販路開拓・ハンズオン支援事業 ブランド力向上支援事業

(岡山市委託事業)

岡山市内の企業を対象に、専門家がブランド力向上やマーケティング、プロモーション等を含む総合的なアドバイスにより、売れる仕組みづくりを支援した。

・ブランド力向上セミナーの開催 1回(53人)

・専門家の派遣 4社(16回) ※再掲

1.2 設備導入支援

設備貸与(自主事業、割賦損料補助は県補助事業)

創業者、小規模企業者等及び中小企業者が希望する設備を財団が購入し、経営状況に応じた5区分の料率(年1.44%~2.62%)で割賦販売又はリースにより設備導入を支援した。

また、「経営革新等設備投資促進枠」として、経営革新承認企業、ものづくり重点4分野(超精密生産技術/バイオ/医療・福祉・健康/環境)、地場産業(繊維/耐火物/機械金属関連)、航空機部品関連、食品関連、新分野進出、新技術の導入、新製品の開発に該当する者についての設備投資の場合は、特別料率(年0.72%~1.31%)に設定した。

さらに、「創業者設備投資支援枠」として、創業者の事業のために必要な設備投資を行う場合は、当初2年間の割賦損料を免除とした。

(ア) 割賦販売 760,167千円

・経営革新等設備投資促進枠 597,849千円

・創業者設備投資支援枠 63,822 千円

・割賦（基準枠） 98,496 千円

（イ）リース 37,605 千円

・経営革新等設備投資促進枠 37,605 千円

（ウ）割賦販売及びリース合計 797,772 千円

・経営革新等設備投資促進枠 635,454 千円

・創業者設備投資支援枠 63,822 千円

・割賦及びリース（基準枠） 98,496 千円

1 3 中小企業高度化事業に係る診断・助言（県委託事業）

中小企業高度化事業に取り組む協同組合等に対して診断・助言等を行った。

・診断、助言 12 件

・フォローアップ 43 件

・モニタリング 23 件

1 4 高度化資金・近代化資金の債権管理電算データ保守管理（県委託事業）

岡山県中小企業高度化資金及び岡山県中小企業設備近代化資金に係る債権管理データ及び電算システムの保守に関する事務並びにこれら債権に附帯する事務を行った。

1 5 競争力強化対策事業（県委託事業）

中小企業者が行う新分野進出や新商品・新サービスの開発・提供、販路開拓・取引拡大等の取り組み、超精密生産技術や医療・福祉・健康分野など成長性の高い分野の事業における取り組み、生産性の高い設備導入等の取り組みを県内で行う中小企業者に対し、経営革新資金（県融資制度）の円滑な融資を行うため、事業計画等の認定業務を行った。

また、創業後 5 年未満の中小企業者や事業承継を行う中小企業が取り組む新分野進出、

設備投資等を対象とした「創業ゼロ金利補助金」の申請に際し、事業計画の推薦を行った。

・ 経営革新資金に係る認定実績	0 件
・ 創業ゼロ金利補助金に係る推薦実績	39 件

1 6 設備貸与推進事業（自主事業）

設備貸与利用企業に対し、業績回復のきっかけを作る目的で経営改善支援のための専門
家派遣を行った。

経営改善の内容は、外部専門家による経営改善計画の策定や生産活動・営業活動の改善
等の支援を実施した。

・ 専門家派遣	10 件
---------	------

1 7 中小企業の再生支援

（1）中小企業再生支援協議会による再生支援（国委託事業）

企業の再生や再建に豊富な知識と経験を有するマネージャーによる窓口相談を行うと
ともに、外部専門家と協力し、再生計画の策定支援を行った。

・ 再生計画策定支援件数	18 件
・ フォローアップ件数	138 件

（2）経営改善支援センターによる経営改善支援（民間委託事業）

中小企業経営力強化支援法に基づく認定支援機関が実施する経営改善計画策定支援の
費用の一部を負担し、中小企業・小規模企業者の経営改善、事業再生を支援した。

・ 経営改善策定支援相談件数	400 件
・ 経営改善策定支援件数	56 件

18 事業引継ぎ支援（国委託事業）

後継者不在などで事業の存続に悩みを抱える県内中小企業や、これら経営資源を引き継ぐ意志のある県内中小企業の相談に対応するため、事業譲渡や承継等に関する助言、情報提供及びマッチング支援を行った。

- ・相談件数 165 件
- ・成約件数 13 件

V コーディネート機能を発揮し新産業を創出（技術支援部）

企業や大学等が有する研究開発ニーズや技術シーズを把握し、新産業創出に向けた中小企業の研究開発を促進するため、事業分野別に配置しているコーディネーターにより、課題解決に向けた産学、産産の連携による取組を支援した。

特に、新エネルギーなどの次世代産業分野及びメディカルテクノバレー構想に基づく医療機器産業分野への新規参入や販路拡大の支援について、一層強化して取り組んだ。

同時に、「きらめき岡山創成ファンド」運用益により、地域産業資源等を活用した新技術・新商品等の研究開発を支援し、新産業・新事業の創出を図るほか、国の緊急経済対策による、ものづくり関連の大型補助金などの獲得支援も積極的に行った。

また、「おかやま次世代自動車技術研究開発センター」で開発したインホイールモータを含めた EV 駆動システムの実用化に向け、大手自動車メーカーとの共同研究により、性能向上のための試験・評価や量産のための生産技術の確立などを推進した。

1 産学官連携の推進

（１）技術研究会の活動支援（基金事業・自主事業）

分野別技術研究会（岡山県食品新技術応用研究会、岡山県精密生産技術研究会、おかやまバイオアクティブ研究会）について、産学官連携のもと、研究開発活動や交流活動等を支援し、組織の活性化を図りながら、研究成果の発信と産業界での活用に努めた。

- ・講演会、シンポジウムの開催、先進事例視察などの活動支援

（シンポジウム 5 回、講演会等 11 回、視察 3 回、研究室訪問 2 回）

- ・岡山リサーチパーク研究・展示発表会の開催

（展示 71 テーマ、プレゼンテーション 15 テーマ、参加 1,730 人）

（２）異業種交流活動の支援（基金事業・自主事業）

岡山県異業種交流プラザ協議会（10 グループ・184 人）の活動をコーディネートし、

会員相互の交流の促進や新事業創出の促進を図った。また、'84 岡山県技術交流プラザ、'

91 岡山県技術・市場交流プラザの活動支援を行った。

- ・ 特別セミナーの開催 1 回
- ・ 「プラザのつどい」 の開催 1 回
- ・ 各プラザ及びプラザごとの連携による研究開発の促進
- ・ 84 岡山県技術交流プラザ、91 岡山県技術・市場交流プラザの管理運営

(84 プラザ：講演会等 6 回・視察 4 回、91 プラザ：講演会等 6 回・視察 2 回)

2 研究開発の支援

(1) きらめき岡山創成ファンド（基金事業）

「きらめき岡山創成ファンド」の運用益により、県内の中小企業等が行うマイクロものづくり分野における研究開発、地域産業資源を活用して行う新規性・独創性を持った商品・サービスに係る研究開発・販路開拓事業を支援する。

- ・ ミクロものづくり関連助成 11 件（新規 4 件、継続 7 件、助成額 97,193 千円）
- ・ 地域産業資源活用関連助成 10 件（新規 9 件、継続 1 件、助成額 15,310 千円）

(2) 戦略的基盤技術高度化支援事業（国補助事業）

製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、切削加工、表面処理等の中小企業のものづくり基盤技術の高度化について、革新的でハイリスクな研究開発から試作段階までの取組を支援する国の補助事業を活用して、以下の研究開発を推進した。

- ・ 実施テーマ 6 件（新規 1 件、継続 5 件、補助額 174,453 千円）

「溶接部応力制御技術開発による自動車用サスペンション部品の軽量化」

「極短パルスレーザとめっきによるパワー半導体ガラス基板のマスクレス配線工法開発」

「高精度にリアルタイムで加工現象(熱・振動・抵抗)をマルチ計測できる回転式工

具の開発」

「バイオマス分解酵素の大量生産を可能とする固体培養技術の実用化開発」

「3次元LSIウェハ薄化を実現する革新的接合工法の開発」

「低コスト・高生産性を実現する革新的有機半導体結晶膜塗布装置の開発」

(3) 医工連携事業化推進事業（国立研究開発法人委託事業）

医療現場が抱える課題に応える医療機器について、日本が誇る「ものづくり技術」を活かした開発・実用化を推進することにより、我が国の医療機器産業の活性化と医療の質の向上の実現を目指す国の施策を活用して、以下の研究開発を推進した。

・実施テーマ 3件（継続3件）

「感染防御機能を有する革新的骨スクリューの開発」

「辺縁封鎖性と硬組織誘導能を併せ持った世界初の高機能歯内療法用材料の開発・海外展開」

「在宅歯科医療における口腔感染症や誤嚥性肺炎の予防機能を有した抗菌性粘膜調整材の開発・事業化」

(4) 次世代産業育成事業（県委託事業）

新エネルギー、次世代エレクトロニクス等の次世代産業分野進出を目指す県内企業と産学官連携意欲の高い研究者との連携の要となるコーディネーターを配置し、技術シーズの掘り起し、大学等とのマッチング、セミナーによる情報提供、県又は国の支援制度の効率的活用等の共同研究開発から事業化に至るまでの一貫した支援を行うことともに、県内企業の次世代産業分野参入と市場獲得を促進した。

・次世代産業研究開発プロジェクト創成事業費補助金採択企業 推進支援 10社

・次世代産業に関連する技術セミナー 6回開催 計 396人

・企業・研究機関への訪問による情報収集及び発信 143社・機関

- ・ 県内企業の研究開発推進に向けた補助金等各種制度の活用支援 51 件
- ・ ニーズ発信会とビジネスプラン作成研修を通じた川下企業とのマッチング 26 件

(5) 研究開発促進事業（県委託事業）

今後成長が見込まれる様々な分野に係る県内企業の研究開発等の取組に的確に対応できる専任コーディネーターを配置し、新技術・製品開発等の「きっかけづくり」から設計開発力強化、各種支援制度等を活用した研究開発の推進まで、効果的かつ総合的な支援を行った。

- ・ ものづくり補助金申請書作成支援、確認書発行 92 件 採択件数 31 件
- ・ 補助金申請書書き方セミナー等の開催 1 回
- ・ 競争的資金の制度説明会開催 2 回（岡山会場 82 人、津山会場 26 人）

(6) 難削材加工技術スキルアップ研修（新規：県委託事業）

航空機、医療機器、エネルギー関連機器など、今後成長が見込まれる分野で用途が広がるチタン合金や超耐熱合金等の難削材の高度化を支援するため、セミナーや実践的な加工実習等を総合的に組み合わせた研修を施し、県内企業の競争力強化を図った。

- ・ 難削材加工技術スキルアップ研修（超耐熱合金コース） 1 回
- ・ 難削材加工技術スキルアップ研修（チタン合金コース） 1 回
- ・ チタン合金に対する切削加工の基礎と最新の技術動向に関するセミナー 1 回

(7) 医療機器開発プロモート事業（県委託事業）

岡山県の『メディカルテクノバレー構想』に基づき、医療産業の創造・育成に取り組む中、医療機器開発に特化した推進体制として『医療機器開発プロモートおかやま』を運営し、県内ものづくり企業による医療、福祉機器産業分野への新規参入や販路拡大の支援を行った。

・医療機器分野新規参入支援セミナー	1 回
・ISO13485 認証取得（QMS 構築）指導会キックオフセミナー	1 回
・ISO13485 認証取得（QMS 構築）個別企業指導会	4 社
・医療機器メーカー見学会	1 回
・県外製造販売企業（医療機器メーカー）とのマッチング交流会、商談会	1 回
・関東経済産業局医療機器ものづくり商談会	2 回参加
・医療機器、福祉機器商談件数	52 件
・MEDTEC2016 出展	10 社

（８）産学金官連携強化事業（県委託事業）

金融機関との連携を強化し、県内企業のニーズと県内大学や工業技術センターなどのシーズの把握とマッチングに取り組んだ。また、金融機関の方が産学連携のパイプ役となれるように、産学金官連携の意識向上を図った。

・金融機関への工作機械研修	4 回
・フォローアップセミナー	1 回
・競争的資金の申請支援	25 社

（９）自動車関連企業自立化促進支援補助金（県委託事業）

事業活動における相当部分が長期にわたり三菱自動車工業(株)との取引に依存している県内中小企業者の超精密生産技術（マイクロものづくり）分野における新事業の創出及び岡山県の特徴ある地域産業資源を活用した先進的な取り組みを支援した。

・マイクロものづくり関連助成	4 件	助成額 39,348 千円
・地域産業資源活用関連助成	2 件	助成額 5,011 千円

(10) 技術振興事業（基金事業）

三菱自動車工業(株)水島製作所の主要生産車種の生産・販売停止による影響を受けている県内関連企業を対象に新技術・新製品開発力強化や新事業創出・新分野進出に向けての取組等を支援した。

・新技術・新事業の研究に対する補助 13 件 補助額 14,818 千円

(11) 地域中核企業創出・支援事業（民間委託事業）

中国経済産業局の公募事業に採択された特定非営利法人経営支援 NPO クラブから、当該事業の一部を受託し、製品の評価・モニタリングを実施した。

3 産業クラスター計画の推進

(1) 循環型産業クラスター計画の推進（県委託事業）

産業廃棄物を循環資源として活用する新技術・新商品の開発等により、県内環境産業の振興を図ることを目的として、中四国環境ビジネスネット（B-net）を設置し、産学官の連携により、中四国地域を視野に入れた広域でのビジネスマッチングやセミナーの開催などの活動に取り組んだ。

また、企業の研究開発や施設整備等に対する助成、B-net で生み出された新技術や新商品の販路拡大に向けた全国規模展示商談会への出展に対する支援等を通じて、循環型社会の形成を目指す企業、大学等の 3 R に向けた取組を促進した。

・中四国環境ビジネスネット委員会の開催	1 回
・セッション会議の開催	5 回
・中四国環境ビジネスネットフォーラムの開催	1 回
・エコプロダクツ 2016 出展	9 社・団体
・環境産業推進員による情報収集等訪問企業	206 社
・リサイクル技術情報集の作成	500 部

(2) バイオマスプラスチッククラスター活動の推進（県委託事業）

環境に優しく市場拡大が期待されるグリーンバイオ（生物機能利用技術）産業について、産学官が連携しながら、基礎となる技術や製品開発の推進、バイオマスプラスチックの利用拡大に向けた普及啓発等を通じて、グリーンバイオ産業群の育成及び資源循環型社会の構築を促進する岡山バイオマスプラスチック研究会の活動を推進した。

・セミナー、講演会の開催 3 回

(3) 福祉用具開発クラスター活動の推進（基金事業・自主事業）

福祉用具等の開発・改良・商品化・販路開拓等に向け、製品や技術の PR・研修・情報交換の場を設けるなどの活動を通じて、利用者が真に必要としている福祉用具の開発・普及を促進するとともに、新規参入を促しながら福祉関連産業の振興を図ることを目的に、「ハートフルビジネスおかやま」の活動を推進した。

・商品化支援委員会及びワークショップ 2 回
・セミナー・講演会 2 回
・マッチングプラザ出展 10 社
・「きらめきプラザ」での常設展示 4 社
・他クラスターや保険福祉関係団体などのイベント共催出展 4 回

4 岡山リサーチパークの周知活動

(1) 小中学生（家族）向け一般公開（基金事業・県委託事業）（予算額：1,964 千円）

岡山リサーチパークを中心とした研究活動を一般に公開することで、広く県民に存在を周知するとともに、新技術のすばらしさ、科学技術の重要性の認識を目的に、主に小中学生を対象とした日頃体験できない科学技術の発見・感動の場を提供した。

・おもしろ体験でえ〜 2 日間（延べ 3,500 人）

(2) 岡山リサーチパーク研究展示発表会開催事業（基金事業・県委託事業）

岡山県内研究者の技術シーズを「おかやまテクノロジー展」の併設会場にて公開することで、県内研究者と県内企業とのマッチングを進めた。

- ・岡山リサーチパーク研究・展示発表会の開催（再掲）

（展示 71 テーマ、プレゼンテーション 15 テーマ、参加 1,730 人）

5 次世代自動車の技術開発に向けた取組の支援

（１）おかやま次世代自動車技術開発プロジェクト（第２期）の推進（県委託事業）

自動車産業を取り巻く環境の変化に県内企業が的確に対応できるよう、公募により参加した中小企業 16 社を中心に県内外の大学や県工業技術センター等との産学官連携に取り組むとともに、三菱自動車工業(株)との共同研究も進めながら、第１期で開発した技術や新製品、さらに第２期で開発する技術等の実用化を目指す取組を推進した。

小型化、軽量化、低コスト化、新機能など、技術開発した要素部品の実証試験を行う試験車の製作を通じて県内企業の技術力、提案力を高め、国際競争力のある「次世代自動車産業クラスター」の形成を目指した。

また、試作開発部品を搭載した実証試験車や主要開発部品さらには参加企業が独自に開発した部品等を国内で開催される４展示会に出展し、国内外からの来場者にインホイールモータ車の高効率で快適な走行を PR するとともに、参加企業の販路拡大や取引拡大を図った。

・人とくるまのテクノロジー展（横浜、名古屋）出展	各 1 回
・EVEX 展出展	1 回
・オートモーティブワールド	1 回
・成果発表会	1 回
・三菱自動車工業(株)との共同研究	2 テーマ
・知的財産権（特許）の獲得	6 件

6 知的財産を活用したものづくりの推進

(1) 知財総合支援窓口の設置（国請負事業）

中小企業等が抱える知的財産に関する課題の解決を支援するため、一般社団法人岡山県発明協会と連携して「岡山県知財総合支援窓口」を設置した。

窓口には4人の窓口支援担当者を配置し、必要により弁理士等知財専門家と連携しつつ、窓口または現地にて課題解決を支援した。

・ 窓口支援担当者が対応した相談案件数	2,105 件
知財専門家と連携した支援	359 件
〔内、知財専門家（弁理士等）の窓口支援	186 件〕
〔内、知財専門家の派遣等	173 件〕
・ 電子出願端末利用件数出願件数	156 件

（内、特許願 10 件、実用新案登録願 5 件、意匠登録願 14 件、商標登録願 29 件、その他 98 件）

(2) 外国出願に関する支援

中小企業者等の海外展開支援の一環として知的財産を外国出願する際の経費を補助した。

特許 1 件

商標 4 件

補助金額 715,000 円

(3) 都市エリア特許に係る管理（自主事業）

「都市エリア産学官連携促進事業」発の特許のうち、財団が権利化した特許若しくは大学と財団が共同で権利化した特許を基に、企業が技術開発等を行った場合、これから得られた実施料を発明元に還元することで研究活動等の活性化を支援した。

・ 都市エリア産学官連携促進事業に係る実施許諾特許数 6 件（1 社）

VI 産業人材の育成と情報提供等（総務部事業）

財団の運営及び利用促進のための各種施策を企画推進した。また、中小企業の階層及び分野の様々な研修、IT 分野、ISO9001、ISO14001、新入社員合同入社式等に関する研修を企画・開催し、産業人材の育成を支援した。加えて、財団が実施している各種支援策の PR や県内中小企業の情報などを掲載した情報誌の発行、インターネット上での「産業支援ネットワーク」の運営などを通じて有用な情報の発信を行った。

1 ものづくり人材の育成

（1）技術開発に必要な人材育成（県委託事業）

自動車産業をはじめとした県内製造業における設計・開発力の強化や電気・電子関連部品等の技術力を強化するための研修を実施した。

・実証講義「有接点シーケンス制御・Solid Works・自動化技術研修」他 20 コース（189 人）

役立ち度 4.44／5.00

2 ビジネス人材の育成支援

（1）専門的人材の育成（県委託事業）

県内経済の産業活性化を目指し、県内中小企業等の生産性向上やコスト削減に向けた取組みを促すため、「現場改善」「生産性向上」をキーワードとした研修を企画運営し、人材育成を行った。

・おかやま産業人材育成塾の開催

24 コース（455 人）

役立ち度 4.65／5.00

（2）ビジネス人材の育成（自主事業）

中小企業の経営者から若手社員までを対象に、階層別研修のほか必要な知識を身に付け、更なるスキルアップを目指せるよう支援した。

・ビジネス人材育成塾の開催

16 コース（346 人）

(3) 生産現場の改善支援（県委託事業）

ものづくり中小企業の生産現場に、合理性を追求したトヨタ生産方式の指導者を派遣し、生産性の向上やコスト削減の助言を行った。

- ・現場改善研修の開催 3 社

(4) 後継者の育成（自主事業）

中小企業の後継者等を対象に、経営者としての意識づくりを促す「後継者育成塾（第 11 期）」を開催し、塾生 20 人のネットワークづくりを支援した。

また、修了生で構成する「吉備継成会（154 人）」の活動を支援した。

- ・後継者育成塾の開催 1 コース（20 回）
- ・吉備継成会の開催 8 回

(5) ISO 内部監査員養成セミナー（自主事業）

ISO9001・14001 を取得、若しくはこれから取得を目指す内部監査担当者を対象としたセミナーを開催し、内部監査担当者の養成を行った。また、2015 版移行コースを新設し、参加者のニーズに対応した。

- ・ISO9001 2015 版移行コース 1 回（12 人）
- ・ISO9001 内部監査員養成セミナー 1 回（25 人）
- ・ISO14001 内部監査員養成セミナー 1 回（12 人）

3 グローバル（留学生）支援

(1) おかやま若者グローバルチャレンジ支援（民間交付金、県負担金）

県内の大学等の在学者を対象に、国内外での学修と実践活動を通じ、世界で活躍できる人材を育成し、地域の活性化に貢献するリーダー候補を育成する。

・奨学生

7 人

(2) アジア留学生を活用した海外展開支援等（自主事業）

県内の大学に在籍している留学生をビジネス人材として育成・確保することにより、県内中小企業等の海外における事業展開を支援した。

具体的には、県内への就職希望者に対して、就職マッチング・奨学金の給付等を行った。

・奨学金の支給（36 万円／人）	16 人（うち冠企業分 6 人）
・インターンシップ	37 社（46 人）
・県内中小企業等との就職マッチング	1 回（27 社、留学生 27 人）
・県内中小企業への就職	6 社（8 人）

4 おかやま産業情報の発行（自主事業）

県内企業に対し、財団活動の広報を行うとともに、財団が実施する事業及び県内企業向けの各種施策の情報を提供する「おかやま産業情報」を発行した。

・おかやま産業情報の発行	年 6 回 毎回 4,000 部
--------------	------------------

5 中小企業の情報化支援

(1) 岡山県産業支援ネットワークの運営（県補助事業）

県内中小企業者の IT 対応を促進するため、情報ハイウェイを活用した岡山産業情報の発信拠点（ポータルサイト）を整備・運営し、県内企業情報等のデータベース（おかやま企業情報ナビ・おかやま専門家 NAVI）や有益なイベント情報、各種支援施策等を発信した。

・おかやま企業情報掲載社数	3,120 社
・メールマガジンの発行（登録者）	4,463 人
・IT セミナーの開催「情報セキュリティーセミナー」	1 回（110 人）
・IT 担当者養成研修の開催 「パソコン&ネットワークのトラブル解決 実務者研修」	1 回（20 人）

(2) 中小企業の IT 支援（基金事業）

ソーシャルメディア等のビジネス分野への急速な普及に対応するため、中小企業者に対し IT 経営への認識・理解を深めてもらうための研修会等を実施した。

- ・ IT セミナー・個別相談会の開催
「ホームページブラッシュアップセミナー」 1 回（38 人）
- ・ IT 研修会の開催 5 コース（86 人）

6 施設の管理運営

テクノサポート岡山会議室の施設管理（県委託事業）

「テクノサポート岡山」の管理者として、施設内の技術情報ライブラリー、展示室、会議室等の管理運営を行った。

- ・ 会議室使用件数 1,052 件
- ・ 会議室利用人数 29,808 人

7 プロフェッショナル人材のマッチング支援

成長戦略の具現化に必要な人材の確保に悩む県内中堅・中小企業に対し、都市部の大手企業等で豊富な経験を有するプロフェッショナル人材とのマッチング支援を行い、新事業の展開や新技術の開発など県内企業の経営革新を図った。

- ・ 民間人材ビジネス事業者の登録件数 23 社
- ・ 民間人材ビジネス事業者への取次ぎ件数 154 社(215 人)
- ・ マッチング成立件数 36 人

8 エキスパート人材のマッチング支援

県内中堅・中小企業の生産性向上や製品・サービスの高付加価値化を図ることを目的に、岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点、民間人材ビジネス事業者、産業支援機構、金融機関と連携し、県内企業とエキスパート人材とのマッチング支援を行った。

新規事業のため民間人材ビジネス事業者への取次は平成 29 年 1 月より開始している。

- | | |
|----------------------|------------|
| ・ 民間人材ビジネス事業者の登録 | 23 社 |
| ・ 民間人材ビジネス事業者への取次ぎ件数 | 33 社(82 人) |
| ・ マッチング内定件数 | 3 人 |